



大和証券グループは、1996年4月に日本初のインターネット証券取引サービスをスタートさせたりi-mode、EZweb、J-Skyweb向け証券取引サービスも実現するなど、常にパイオニア的存在である。ストリーミング技術の導入においても、ファースト・ムーバーとして着実に進化発展させている。

<http://www.daiwa.co.jp/>

「拡大する個人投資家層にいかして選ばれる証券会社になるか？」

このためには、証券ビギナーからベテランまで、いろいろな投資家層に対応したサービスの提供が不可欠と考える大和は、「解りにくい情報をより解り易く、時間や場所の制限にとらわれない情報提供活動」を目指し、インターネットによるストリーミング配信をグループ各社で積極的に展開している。

ストリーム活用事例： 大和証券グループ本社社説明会

株式会社大和証券グループ本社
経営企画部 IR室
室長 大西 俊彦 氏

IR活動は、実際に説明会を開いたり、アニュアルレポートを作成したりといったいろいろな情報伝達手段がありますが、ストリーム配信は、従来のやり方と比べて、より広く、より多くの投資家の方への効率的な情報伝達手段として、IRと非常に相性がよいと考えています。今後、特に個人投資家に向けた情報伝達が課題となる中、定期的に行っている会社説明会のオンデマンド配信は、誰もがいつでも必要な時に利用することができるようになりますし、特に大きな設備や初期コストが掛かるわけでもありませんから、コスト的にも非常に良いと判断しています。証券業をリードしていく立場にある弊社グループが、まず率先してIRの模範を示していきたいですね。

ストリーム活用事例： 401k HEADLINE 日本版401k制度セミナー

大和証券SBキャピタル・マーケティング株式会社
制度商品部 401kプロジェクト
次長 橋本 直彦 氏

実際にセミナーを行うとなると、会場手配やスケジュール的な問題が生じてしまいますが、ストリーム配信によるバーチャル・プレゼンテーションなら、インターネットに接続できる環境さえあれば、全国各地からいつでも手軽にセミナーに参加できます。また、長時間のセミナーでも、任意の箇所だけ選択して繰り返し聞いたりできるのも、参加者には便利な点も多いと評判です。開催者側にとっても、会場の設定や告知活動、案内状送付といった手間とコストが削減できますから、十分メリットがあります。今後は、より使い勝手の向上を目指して、各テーマ毎に5分～10分の短い内容のワンポイント・レッスンのものも充実させていきたいですね。

ストリーム活用事例： 投資家向け事業会社情報発信システム「e-IR」 ビデオ・フォーラム

大和インバスター・リレーションズ株式会社
業務推進部
次長 岩田 真弘 氏

e-IRは、企業と投資家のベスト・マッチを実現する金融ポータル・サイトを目指しています。これまで、トップ自らが説明する決算報告や経営計画の情報は、一部の機関投資家やアナリストだけにしか行き渡っていませんでした。また、トップ自らのプレゼンテーションが株価に与える影響は大きいとされていながらも、トップ自らが直接多くの投資家に向けて会社をアピールする機会はありませんでした。しかし、e-IR ビデオ・フォーラムでは、投資家は、トップ自らのプレゼンテーションを、ストリーム配信による映像と音声を、プレゼン資料付きで視聴することができます。オンライン・トレードの機能と併用すれば、情報分析を行いながらタイムリーな取引アクションに結びつけることも可能となります。

このような新しい技術を使ったIR活動には、大企業から中堅・中小企業、あるいは新興企業の方が、むしろ積極的に効果も大きいようです。今後、ビデオ・フォーラムを含め、更なる参加企業社数の増大を計ってまいります。

ストリーム活用事例： ダイワインターネットTV

株式会社大和証券グループ本社
広報部
グループ内コミュニケーションチーム
次長 白子 誠 氏

ダイワインターネットTVでは、証券会社ならではの情報を、インターネットで動画音声を使って解りやすく提供しています。インターネット放送（ストリーム配信）の導入により、より広く個人投資家にまで情報を発信することが可能になりました。

大和証券では、インターネットの普及に伴い増大した若年層、女性層といった証券ビギナー層に、適切な啓蒙活動や情報提供を行うことは、業界をリードしていく会社としての使命と認識し、ビギナーからベテランまで視聴者層に合わせたコンテンツを用意しています。今後は更に、時々刻々更新される市況動向の、よりタイムリーなライブ放送や、多様化する投資家層別の個別ニーズに対応できるオンデマンド放送コンテンツの充実を計っていきます。

大和証券グループのストリーム配信に関する今後の取り組みと展望について

株式会社大和証券グループ本社
ネット戦略室
課長代理 辻之 氏

インターネットによる動画音声配信は、証券ビジネスに関する様々なプレゼンテーションと、非常に相性がいいものだと考えています。例えば、将来的には、IRなどはそのほとんど全てがストリーミング配信されると言っても過言ではないかもしれません。

将来的には、もっと快適にインターネットで動画音声を利用できる時代、ブロードバンド時代の到来を視野に入れて、コンテンツ制作のノウハウを蓄積していくと共に、インターネットという双方メディアの特性を生かしたインタラクティブなサービスを充実させていきたいと考えています。